

小学校4年生
社会科
「きょう土の伝統・文化と先人たち」
《教科書》新編新しい社会 4:p94~129(副読本) p123~128

1. 『ねらい』

- ・太郎八がなぜため池をつくったのか、当時の水のない生活の不便さなどを知り、ため池をつくった意味を理解する。
- ・太郎洞池や堤防付近の見学を通して、ため池や堤防の大きさを実感することができる。
- ・堤防造りの道具の観察、体験をすることで、当時の人々の苦労や工夫を知ることができる。

3:人数	4:活動月	5:活動時間
約70名/1日あたり	10~12月	終日(9:00~15:00頃)

2:児童の持ち物	探検バッグ、ワークシート、筆記用具 弁当、水筒、敷物、帽子(雨天時:傘)
----------	---

6:必要な人員	学芸係、学習係、ボランティア
---------	----------------

7. 学習内容

事前の学習
・副読本の該当ページを学習している。
・福田太郎八や堤防造りに興味を持ち、質問などを考えている。
…など

事後の学習
・活動したことや、これまでに学習したことを新聞にまとめる。
・太郎八の実績をまとめ、太郎八に表彰状を贈る。
…など

時間	1組	2組	場所	先生(T1)	学芸係・学習係(T2)	ボランティア(T3)
10分間	◆始めの会 ・ボランティア、学習係の紹介 ・先生の話		エントランスホール	・司会補助 ・学習についての話	・自己紹介 ・注意事項	・自己紹介
20分間	◆活動A:福田太郎八について知ろう ・福田太郎八とはどんな人物か、パワーポイントで確認(復習)する。 ・紙芝居「太郎洞池物語」を見て、水不足の状況(飢饉)や人々の暮らし、工事の苦労など当時の様子を想像する。		活動A: 緑のホール	活動ABCD ・活動進行の支援 ・時間調整 ・声かけ	活動A《学習係》 ・福田太郎八について ・紙芝居 活動B《学芸係》 ・収集資料(古文書)の解説 ・質問対応 《学習係》 ・立体地図等の解説 ・じよれん、もっこの解説	活動C ・いろいろな道具と堤防造りのお話 ・道具の使い方の説明と実演 ・声かけ ・安全確保
60分間	◆活動B:常設展示室の資料見学 ◎ (3グループ) ①古文書(太郎洞池絵図、約定證文之事)を見て、考えを出し合う。 ②立体地図を見て、なぜ太田の地形は水を得るのが難しいのか、なぜその場所にため池を作ったのかを考える。堤防の工事の進め方を知る。 ③「じよれん」「もっこ」を観察し、何に使われた道具なのか、どんなふうに使ったのか想像する。	活動D:太郎洞池を歩こう▽	活動B:常設展示室 活動C: 生活体験館周辺 (雨天時:施設間通路)	・整列、移動、グループ分けの指示 ・安全確保 ・活動のまとめ	・収集資料(古文書)の解説 ・質問対応 《学習係》 ・立体地図等の解説 ・じよれん、もっこの解説	
10分間	◆移動・トイレ休憩		活動D: 太郎洞池周辺		活動C ・道具の使い方の話 ・声かけ ・安全確保	
60分間	◆活動C:堤防造りの道具体験 ◎ (2グループ) ①堤防造りの道具調べをする。 ・「せんつき」「とづぐわ」「つるはし」を観察し、何に使われた道具か話し合い、当時の人々の苦労と工夫を知る。 ②「もっこ」の体験(もっこの有無で重さ、運びやすさも比べる) ・質疑応答、感想交流	◆活動B:常設展示室の資料見学 ◎	エントランスホール		活動D ・太郎洞池への案内 ・太郎洞池堤防の大きさ、関わった人数、年月などの話 ・安全確保 ・声かけ	
50分間	◆昼食 芝生広場(雨天時:工芸室など)					
60分間	◆活動D:太郎洞池を歩こう▽ ・太郎洞池の南側に行き、ため池の大きさや取水口の位置を確認する。 ・堤防下まで歩いて、堤防の高さを確認し、堤防の造り方についての話を聞く。 ・エントランスに戻って、質疑応答、感想交流をする。	◆活動C:堤防造りの道具体験 ◎				
10分間	◆終わりの会 ・児童の感想 ・ボランティア、学習係の話 ・先生の話		エントランスホール	・司会補助 ・学習の振り返り	・学習の振り返り	
	◆文化の森出発		正面玄関	・安全確保		

8. 安全面への配慮

・活動Dでは一般道を徒歩で移動するので周りの交通に注意する。▽

10. 雨天時の活動

・活動Aは、生活体験館の施設間通路で行います。・活動Dは、傘をさして行きます。

11. 備考

・活動で使う資料は貴重な所蔵品ですので、取り扱いに注意してください。道具の取り扱いについて、事前に指導をお願いします。◎

・活動Cの道具調べについては、P.88のワークシートを参照してください。

・活動の内容やようす、進行の状況によって時間がずれてきます。状況に応じてスムーズな進行ができるように指示、声かけ等をお願いします。

9. 用意する物

学校	【活動ABCD】ワークシート 【その他】救急箱
文化の森	【活動A】福田太郎八の説明PP、紙芝居PP 【活動B】収集資料(古文書)、立体地図、堤防の工事の進め方 【活動C】もっこ、にないぼう、せんつき、じよれん、つるはし、とづぐわ、竹み 【活動D】太郎洞池・堤防の資料 【その他】救急セット

*バスの学校への帰路は、河岸段丘が見える経路を使うこともできます。ご相談ください。

12. 2025年度実践校一覧 ※アルファベットの学習内容に対応しています。

月	日	日程	学校名	学級数	人数	学習内容
9	19	終日	伊深小	1	13	A:福田太郎川について、B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験 D:太郎洞池を歩こう
9	24 25	終日	古井小	2	65	A:福田太郎川について、B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験 D:太郎洞池を歩こう
10	1 2	終日	加茂野小	2	69	A:福田太郎川について、B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験 D:太郎洞池を歩こう
10	23	終日	蜂屋小	2	51	A:福田太郎川について、B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験 D:太郎洞池を歩こう
11	5	午前	山之上小	1	16	B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験 D:太郎洞池を歩こう(※行きはバスから見学)
11	11 12	午前	太田小	1	30	B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験
				2	59	D:太郎洞池を歩こう(※帰りにバスで立ち寄り見学)
11	21	終日	下米田小	2	72	A:福田太郎川について、B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験 D:太郎洞池を歩こう
11	27	終日	山手小	3	86	A:福田太郎川について、B:常設展示室で資料見学、C:堤防造りの道具体験 D:太郎洞池を歩こう

13. 学習の様子



- ① 福田太郎川、太郎洞池の話 ② 学芸員と古文書を見る ③ 立体地図からため池の位置の確認 ④ 古地図で福田太郎川の家を確認
⑤ 堤防造りの道具(じょれん)を調べる ⑥ もっこをかつぐ体験 ⑦ 太郎川物語紙芝居 ⑧ 太郎洞池の観察 ⑨ 河岸段丘の確認

14. 指導要領の該当部分における記述について

第4学年社会科「きょう土を開く」について、学習指導要領には以下のように記述されています。

《第4学年の内容(4)ーア(知識及び技能)より一部抜粋》※下線は学習係による

- (イ)地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。
・開発、教育、医療、文化、産業などにおいて地域の発展に尽くした先人について、様々な苦心や努力を重ねて業績を成し遂げたことや、その苦心や努力が当時の人々の生活の向上や地域の発展に大きく貢献したことなどを基に、先人のはたらきについて理解すること。
(ウ)見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。
・先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。
・博物館や資料館などを見学して必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を結び付けながら情報を読み取る技能、調べたことを時間の経過に沿って年表などに整理する技能などを身に付ける。

《第4学年の内容(4)ーイ(思考力、判断力、表現力等)より一部抜粋》※下線は学習係による

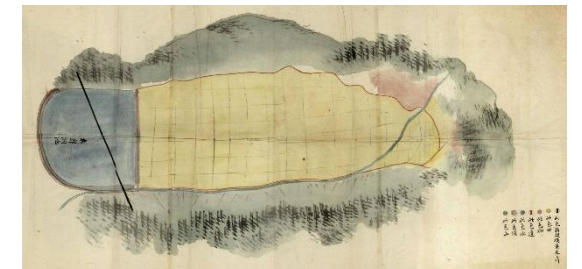
- (イ)当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。
・当時の人々の生活や世の中にはどのような課題があったか、人々はどのような願いを持っていたか
・先人が用いた道具や技術に見られる工夫、実際の取組の様子、当時の社会に与えた影響などを調べる

地域の発展(開発)に尽くした先人として、美濃加茂市の副読本には「福田太郎川」が取り上げられています。

福田太郎川は、太田村の庄屋として、太田宿本陣の運営や近隣の村々の相談役として活躍する一方で、河岸段丘によって水の利用が難しかった地域に新たに田を作ることができるよう、太郎洞池、御手洗池、加賀池、矢田池といった池を整備することにも尽力しました。

福田太郎川についての学習を進めるにあたって、指導要領にもあるように、当時の生活の様子や、太郎川が行った事業の意味や成果を考えるために博物館の収蔵資料を利用することは、とても有効です。資料を答えとして与えるのではなく、与えられた資料から必要な情報を読み取り考える力をつけることができるような展開を仕組んでいくことで、より指導要領に則した活動になるのではないかと思います。

また、文化の森は太郎洞池の隣に位置していることから、活動の中で、ため池が作られた場所にはどのような特徴があるのかということや、池の大きさ・堤防の高さを実際に確かめることができます。同時に、それらのため池工事に使用された道具にふれてみることで、どのような道具を使って、どれだけの大きさのため池(堤防)を作ったのかということや、そこから想像できる人々の思いについても考えを深めることができます。



太郎洞池絵図 (美濃加茂市民ミュージアム所蔵)



学芸員と収蔵資料(古文書)をみる児童

『カニサイのひとりごと』

- ★むかしは、工事はみんな手作業で、道具にも様々な工夫があったことや、自分たちの暮らしを少しでもよくしようとため池づくりにかける人々の熱い思いを感じてほしいです。
★太郎川のおこなったことは、その時代の人たちのためだけでなく、あとに続く人たち、今のわたしたちにもつながっていることがわかり、先人たちの知恵や苦労の上に今の暮らしがあることに気づいてほしいです。また、自分たちの住む地域を立ち返ってみれば、より身近に感じられると思います。
★道具調べでは、「何こつからのだろう?」と興味をもって観察することばかり、「どこからそう思った?」と問い返し、考えを出し合うことで、より深い学びにつながっていくことができました。

